保険でよい歯科診療を
大阪連絡会
市民講座

あなたの唾液足りていますか

知られざる“お口の免疫”の真実

日時　10月5日(日) 午前10時30分～・M&Dホール(WEB併用)

「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は10月5日、「あなたの唾液足りていますか―知られざる〝お口の免疫〟の真実―」をテーマに市民講座を開く。講師は、神奈川歯科大学大学院附属唾液科学研究所長の槻木恵一氏。

今回の市民講座は、M&Dホールを会場にウェブも併用して開催する（定員100人）。参加費は無料。スタッフ・ご家族をお誘い合わせの上、ぜひご参加いただきたい。

槻木恵一氏　抄録

唾液は「汚いもの」というイメージを持つ人も多いかもしれません。しかし、「けがをしたら舐めておけ」といった言葉を聞いたことはありませんか？

実は、唾液には細胞の傷を修復する細胞増殖因子や、抗菌・抗ウイルス物質が含まれており、舐めること自体は決して間違いではないのです。唾液の99%は水分ですが、単なる水ではなく、体に良い成分が100種類以上含まれる「神秘の機能水」とも言える存在です。

特に口腔の健康はフレイル（虚弱）の予防につながり、全身の健康維持にも大きく関わっています。そして、その口腔の健康を24時間支えているのが唾液です。

また、口の乾燥はウイルス感染のリスクを高めます。潤滑に唾液が分泌されることで、ウイルスを洗い流し、感染リスクを軽減できます。さらに、口の中が細菌でいっぱいの状態では、ウイルス感染のリスクがさらに高まることも知られています。そのため、手洗いとともに、唾液の力を高める口腔ケアを実践することが重要です。

本講演では、唾液の持つ免疫力に焦点を当て、口腔の健康を通じて全身の健康を目指すための工夫を紹介します。

略歴
1967年東京生まれ。2021年より神奈川歯科大学大学院附属唾液科学研究所所長。日本唾液ケア科学会理事長。日本病理学会認定口腔病理専門医・指導医。テレビなどで口腔ケアの重要性と唾液の働きを「唾液力」と命名しわかりやすい解説が好評を得ている。

申込はこちら

医科・歯科協会が観劇ツアー

歌舞伎の魅力、間近で実感

玉川尚美（大阪市城東区）

医科・歯科協会は7月6日、松竹主催の「7月大歌舞伎」観劇ツアーを開催し、会員・スタッフら42人が参加し、伝統芸能の奥深さと魅力を堪能した。

歌舞伎は江戸時代初期、出雲の阿国による「かぶき踊り」が起源とされ、女歌舞伎、若衆歌舞伎を経て、現在の野郎歌舞伎へと発展してきた。観劇前に松竹の方から解説があり、早変わりや宙乗りが江戸時代から行われ、観客を楽しませるために工夫を重ねてきたことを知り、歌舞伎界の情熱に改めて感嘆した。女形の演技についてのレクチャーもあり、その難しさの一端を知ることができた。

『羽根の禿（かむろ）』では、デビュー間もない菊之助が初々しくも緊張感ある舞踊を披露し、まるで我が子の初舞台を見るような心持ちに。『うかれ坊主』では、菊五郎が薄衣姿に手桶と銭湯杖を使い軽妙におどけて踊る姿が印象的で、自然と笑みがこぼれた。

『野崎村』では、60代の扇雀が演じる娘姿が自然で、壱太郎との30歳の年齢差を感じさせない演技はさすがだった。『髪結新三（かみゆいしんざ）』では、菊五郎演じる憎めない小悪党と大家との滑稽な掛け合いは、面白く笑ってしまった。歌舞伎でこんな滑稽な場面が出てくるとは知らなかった。

テレビでおなじみの役者の舞台姿は新鮮に映り、古典芸能を身近に感じられる機会となった。唯一の心残りはイヤホンガイドを使わなかったこと。次回はぜひ活用し、より深く楽しみたい。

参加者の様子

医院の雇用対策を考える　2

求人掲載のポイント

前回に続き、bloom総合事務所代表の加藤深雪特定社会保険労務士にお話を伺った。（「東京保険医新聞」2024年4月15日号から2転載）

〝争奪戦〟に負けない採用を

――採用で絶対に押さえておくべきことなどはありますか。

ポイントは「募集方法で失敗をしないこと」と「ミスマッチの防止」です。まず、自院がどういう人材を求めていて、求めている層に訴求できているのかを分析しましょう。よくあるのが、求職者が少ない時期に求人を出しているケースです。人が動く時期はある程度決まっているので、大勢が動いている時期にピンポイントで求人を出せれば高い効果が見込めます。逆に、人がほとんど動いていない時期に求人を出すと応募者はいないのに求人費用を浪費することになりかねません。具体的には、7月に賞与を貰って退職しお盆明けから求職を始める9月、年末賞与を貰って退職し正月休み明けの2月、あとは子どもの入学が決まったので復職しようかと考え始める3月です。ここがピンポイントで求人を出すタイミングです。

――もし費用に余裕がある場合、ずっと求人を出しておくというのはどうでしょうか？

ハローワークや各種募集サイトの掲載期間は2週間～約2カ月なのですが、実はずっと出し続けていると、どんどん掲載位置が後ろにいってしまうんですね。新着情報は前の方に出て人目につきやすく、古い情報は後ろに下がってしまって、あまり見られなくなります。逆にピンポイントで掲載して、きちんと新着情報に載せると費用対効果が高くなります。また、ずっと求人していると、いつも人手不足であの医院は何かあるのではと勘繰られる恐れもあるので気を付けたいところです。

――時間も争奪戦の重要な要素になっているのですね。

人材争奪戦なので、良い人はすぐに他院に採用されてしまいます。あの人もこの人もと大勢面接すると、院長の貴重な時間を費やすことになるので、できるだけ書類選考で絞り込んだ方が良いでしょう。ポイントは、まず譲れない条件を決めることです。特に勤続年数は大事で、半年くらいで転職を繰り返している方は自院に来てもトラブルを起こす可能性が高いと認識すべきです。他院との競合という点では、近隣のクリニックの賃金相場、労働条件も確認する必要があります。例えば労働時間や休日も、近隣に見劣りしないよう設定したいですね。その際、既存の職員の給料がそれより低ければ、そこを含めて底上げしていくことが大切です。あとは、日頃から職員の意見を聴取するなどして、自院の年齢層やスキル、職員の雰囲気、経営理念や特徴などを言語化する作業もしておきたいです。頭で分かっていても、紙に書くと意外と陳腐だったり、伝わりにくかったりするので、言語化は必須です。育休の取得実績や、時間単位の有給制度など、具体的な実績を示すことが望ましいです。（つづく）

連載『医院の雇用対策を考える』への感想やご意見はこちら

第42回 保険医囲碁大会のご案内

日　時　9月21日(日) 正午～（終了後、懇親会）

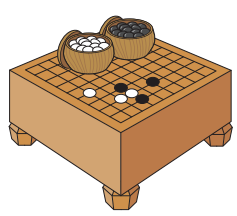
会　場　M&Dホール

内　容　①有段者クラス　②級位者クラス　③入門教室
※いずれも必ず事前にお申込みください

参加費　大会参加：3千円、大会＋懇親会参加：6千円
入門教室：無料（入門セット進呈）

申　込　TEL06-6568-7721で囲碁担当・橋本隆／高橋まで

※入門教室参加者で懇親会に参加希望の場合は、お一人3千円です。
※お申し込み時には棋力（入門教室の場合は不要）と懇親会参加の有無もご連絡ください
※入門教室は事前に参加希望の時間帯もご連絡ください。



【当日の大会プログラム】
・午前11時：受付開始
・正　　午：開会・大会説明
・午後0時10分：第1局開始
・午後1時40分：第2局開始
・午後3時10分：第3局開始
・午後4時40分：第4局開始
・午後6時20分：表彰式・閉会
・午後6時30分：懇親会（～午後8時）

ご家族、ご友人、職員などもお誘いあわせのうえでお気軽にご参加ください！！

【ゼロから学ぶ入門教室】
正午～午後6時の時間帯で開催しますので事前申し込みのうえご都合のよい時間にお越しください